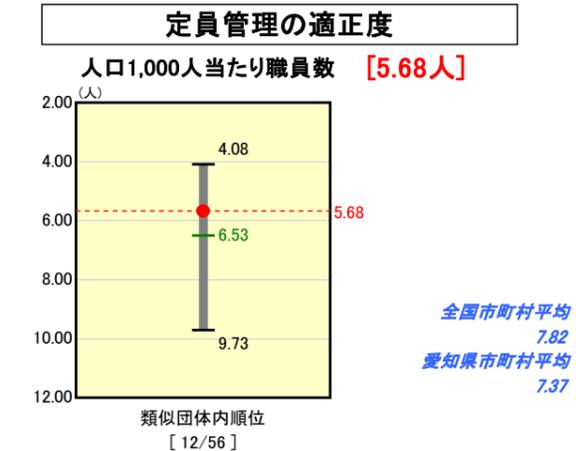
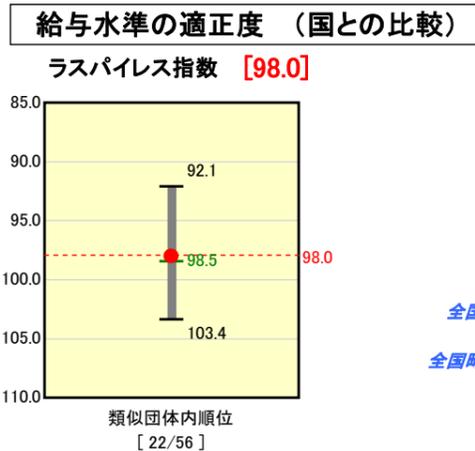
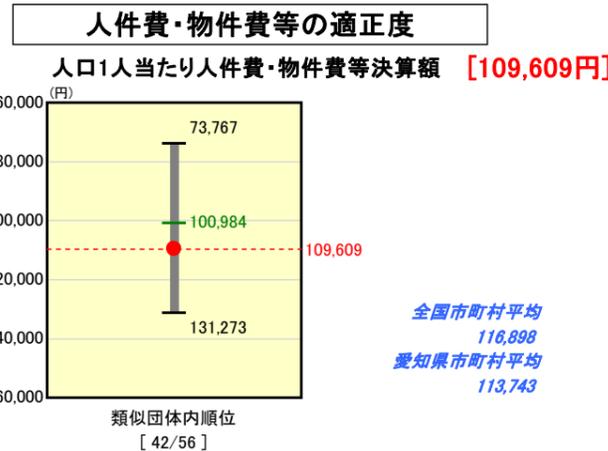
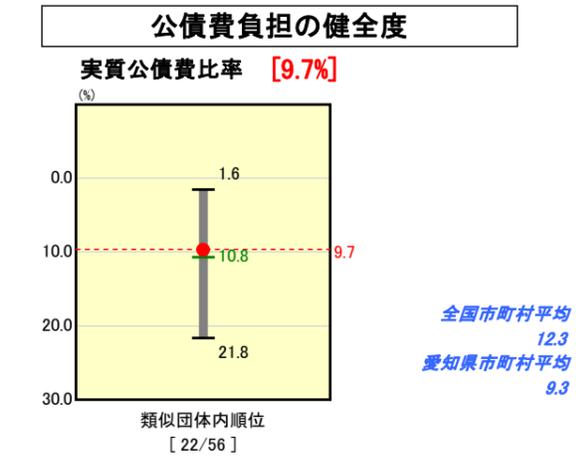
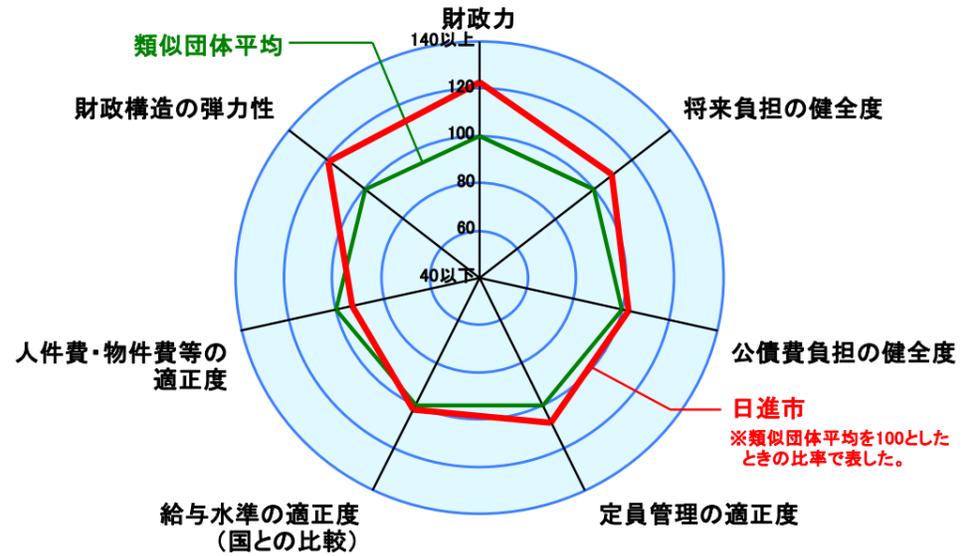
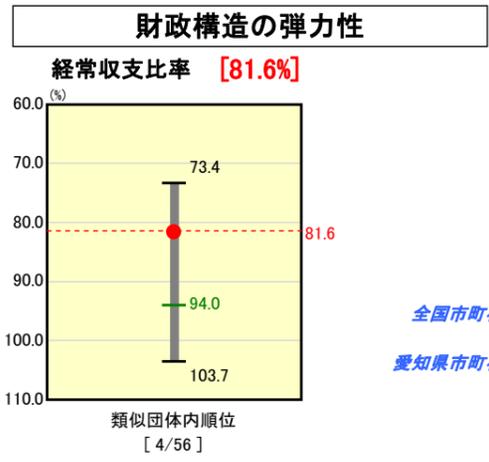
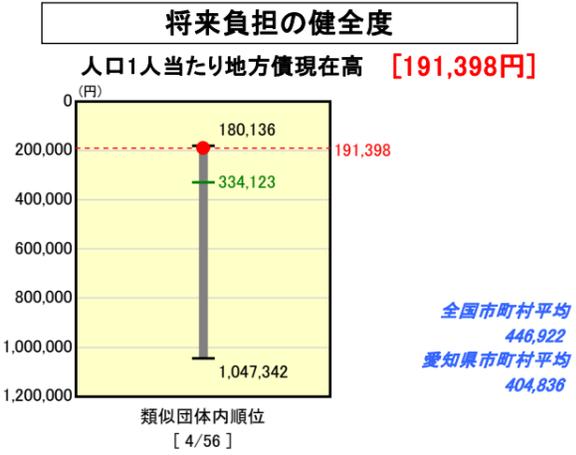
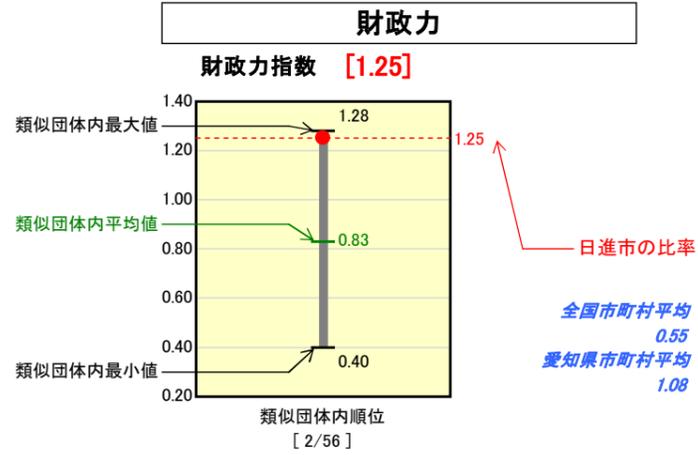


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

愛知県 日進市

人口	78,061人	(H20.3.31現在)
面積	34.90	km ²
歳入総額	22,650,572	千円
歳出総額	21,793,193	千円
実質収支	122,119	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 平成13年度以降、上昇していたが、平成19年度は平成18年度と同じであった。人口増加による税収の増や地方交付税の制度改革の影響で上昇していたと考えられる。引き続き財政力指数を比較的高い水準で維持していけるよう、行政改革大綱や集中改革プラン等により歳入の確保や歳出の削減に努める。

経常収支比率: 類似団体平均を下回っているが、新しい施設がオープンしたことによる維持管理費、制度改革などによるシステム改修費の増等により昨年度に比べ上昇している。引き続き財政構造の弾力性を確保するため「平成22年度決算で80%未満」を目標として、経常経費の削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 人口増加や事務の多様化により、人件費、物件費、維持補修費共に増加している。引き続き集中改革プランや定員適正化計画により人件費の抑制に努める。

ラスパイレス指数: 現在、全国市平均とほぼ同水準の98.0となっている。給与構造改革や集中改革プラン等により適正化に向けた取り組みを行っており、健全な行財政運営を図るため人件費の抑制に努めるとともに、市民の理解と納得が得られるような給与制度の運用や給与水準の適正化に今後も努める。

人口1人当たり地方債現在高、実質公債費比率: 過去からの起債抑制により類似団体平均を下回っている。中期財政計画等により将来的な数値を予測しながら、適正管理に努める。

人口1,000人当たり職員数: 多様化する市民ニーズや行政課題に対応するため、第3次定員適正化計画を策定し、計画的な定員管理に努めている。今後については、組織・機構の簡素合理化、行政評価による事業の見直し、再任用及び任期付職員の活用等、定員の抑制を図り、人件費総額の抑制、団塊世代の退職による一部退職不補充など、様々な観点から検討し、平成18年度から平成22年度までの5年間で職員数2.9%の純減を目標とする。